

新聞に親しみ、震災に理解を深める

「福島民友の日」

知を
はぐくむ
育む
プロジェクト

3/14 土

9:00~15:00

会場 | 東日本大震災・原子力災害伝承館 (双葉町中野字高田39)

福島民友新聞社が取り組んでいる「知を育むプロジェクト」の活動として、新聞に親しみながら震災について理解を深めるイベントを東日本大震災・原子力災害伝承館で開催します。新聞社の視点から震災と東京電力福島第1原発事故からの再生の歩みを振り返る企画のほか、子ども記者体験など新聞の特性を紹介するコーナーなどを設けます。

1日だけの「特別語り部」



伝承館では通常、震災体験者による「語り部」講話が行われていますが、この日は震災報道に関わってきた福島民友の記者が「特別語り部」を担当します。

時間

10時 / 11時15分 / 13時15分 / 14時30分
※各回40分

子ども記者体験@伝承館



伝承館のスタッフに仕事の内容などを取材し、新聞にまとめます。記者が使うカメラを用意し、撮影してもらいます。事前申し込み制です。

時間

9時30分~11時
※対象は小学4年生~中学3年生で定員6人

災害時に役立つ新聞紙活用術



新聞紙は災害時に防寒、衛生面などで活用できます。エコバッグ作りなど日々の暮らしでの取り入れ方も、工作体験を通して紹介します。

時間

9時~15時
申し込み不要。自由にご参加ください。

請戸小のピアノ演奏体験



普段は展示のみの請戸小のピアノ。津波被災を乗り越えて復活したピアノを演奏することで、震災の犠牲者や復興の道を歩む故郷への思いを表現してもらいます。「演奏したい人」を事前募集します。

時間

10時~14時 (予定)
※定員6人で、1人10分程度

絵本「ぼくのうまれたところ、ふくしま」

朗読・販売会



福島民友新聞社が東日本大震災10年に合わせて刊行した絵本「ぼくのうまれたところ、ふくしま」。読み聞かせと販売会を行います。

時間

朗読は11時 / 13時 (予定)
※販売は随時

開催概要

■主催

福島民友新聞社

■共催

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

■詳細

参加無料。※伝承館の入館料は別途。
記者体験、ピアノ演奏体験の申し込みフォームや最新情報は福島民友WEBサイトに掲載します。

